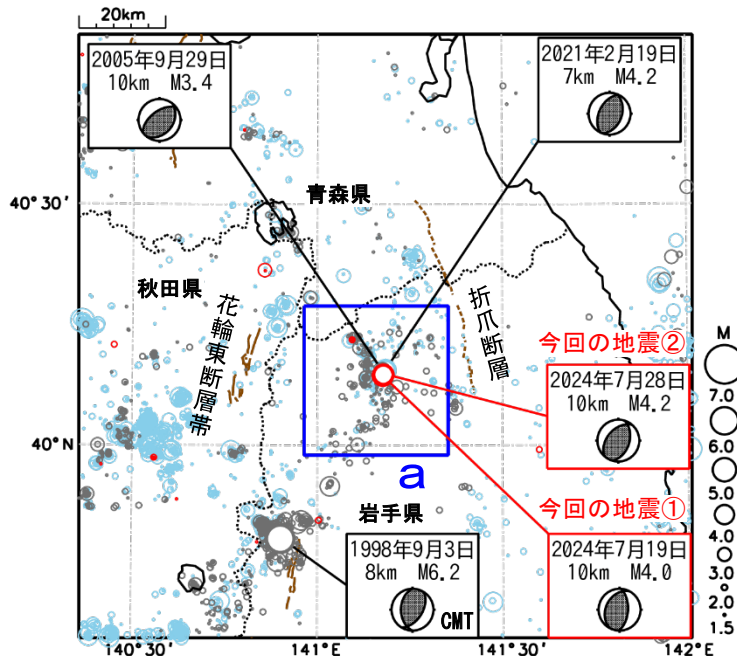


7月19日、28日 岩手県内陸北部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2024年7月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 1.5$)

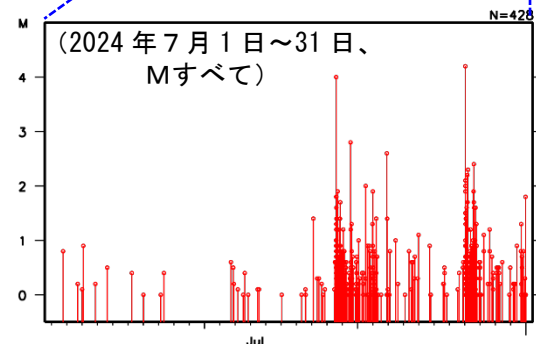
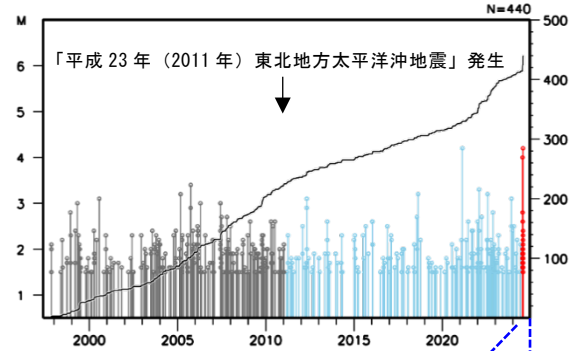
○ 1997年10月1日～2011年2月28日 ○ 2011年3月1日～2024年6月30日
● 2024年7月1日以降



2024年7月19日14時27分に岩手県内陸北部の深さ10kmでM4.0の地震（最大震度4、図中①）が、28日00時58分にはほぼ同じ場所の深さ10kmでM4.2の地震（最大震度4、図中②）が発生した。これらの地震は地殻内で発生した。発震機構はいずれの地震とも西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。今回の地震の震央付近（領域a）ではこれらの地震を含め、震度1以上を観測した地震が6回（震度4：2回、震度1：4回）発生するなど地震活動が活発であった。

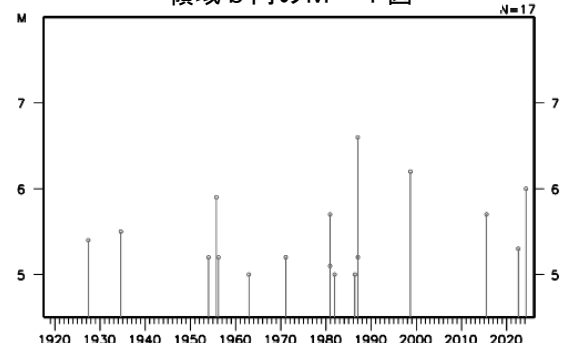
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）は微小な地震活動がみられるところで、2021年2月19日にはM4.2の地震（最大震度4）が発生するなどM3～4程度の地震が時々発生している。

領域a内のM-T図及び回数積算図

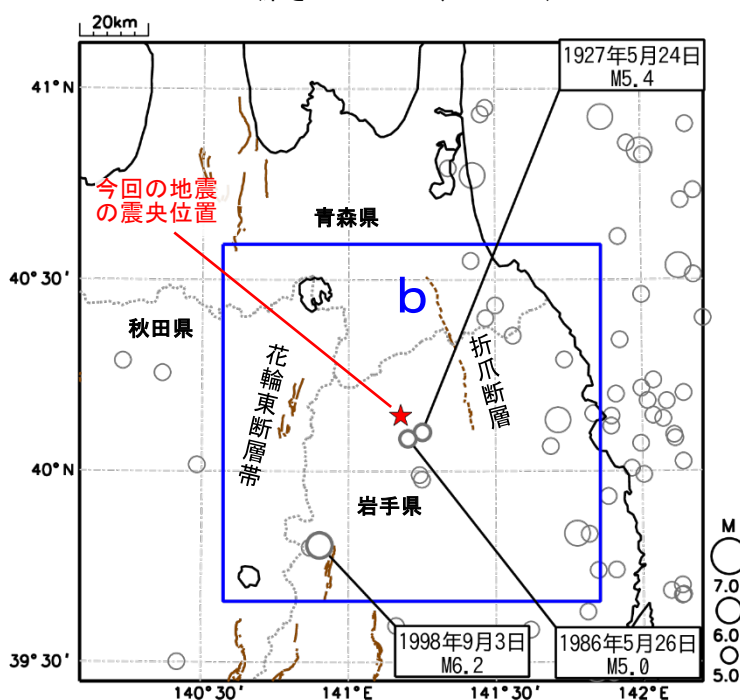


1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6を超える地震が時々発生しており、1998年9月3日にはM6.2の地震（最大震度6弱）が発生し、軽傷者9人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図



震央分布図
(1919年1月1日～2024年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す